

2024 年 4 月 26 日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

Exophiala dermatitidis による呼吸器感染症に関する後方視的観察研究

研究の概要

【背景】

Exophiala dermatitidis (以下、*E. dermatitidis*) は、これまで皮膚や軟部組織の感染症が報告されていますが、とくに呼吸器感染症としては極めて希少疾患とされてきました。しかし日本を含む東アジアでは、気管支拡張症や肺非結核性抗酸菌症に合併する報告が増えてきており、慢性肺感染症の原因微生物として脚光を浴びるようになってきました。近年報告が増えてきている背景に MALDI-TOFMS の普及による診断率の向上が挙げられています。最終診断には遺伝子学的同定が必要になります。*E. dermatitidis* がこれまで過小評価されてきた理由に、培養初期には酵母様の形態を示すことに加えて、菌の増殖が遅いため糸状菌様の特徴を出す前に、酵母の同定に進むことで、*Rhodotorula* 属と誤同定されていた可能性に着目しています。私たちの診療科では、従来より多くの真菌培養を行ってきました。こうした背景から、当科で保存中の *Rhodotorula* 属の菌株の遺伝子学的同定を行い、*E. dermatitidis* による症例がどれくらい含まれているのか、またその臨床的特徴について検証したいと考えています。

【目的】

これまで *Rhodotorula* 属と同定された菌において、真に *E. dermatitidis* の症例がどれくらい含まれるのかについて検証することや、*E. dermatitidis* による呼吸器感染症の臨床的特徴を明らかにしたいと考えています。

【意義】

E. dermatitidis による呼吸器感染症の正確な診断が可能になり、実際にはどれくらいの罹患者がいるのか、希少疾患として明らかにされてこなかった病態についても検証が可能になる意義があります。将来的に、本疾患の適切な診断・治療法について研究が進むことが期待される。

【方法】

本研究は「後ろ向き観察研究」という、通常の診療により得られた過去のデータを使う研究で、本研究のために患者さんに追加で検査などをお願いすることはありません。カルテから患者さんの基礎疾患、病型、治療内容、治療経過などのデータをまとめ、解析します。また保存検体を用いて遺伝子解析を行い、菌種を同定します。

対象となる患者さん

長崎大学病院呼吸器内科で 2002 年 10 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日までに、真菌培養で <i>Rhodotorula</i> 属が分離され菌株が保存されている 18 歳以上の方全てを対象としています。	
研究に用いる試料・情報	
●研究に用いる情報 下記の情報を診療録より収集します。 ・患者さんの背景 ・血液検査結果 ・菌の種類と薬剤感受性試験結果 ・画像検査 ・治療経過 ●研究に用いる試料 2002 年 10 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日までの間に長崎大学病院呼吸器内科にて、真菌培養で <i>Rhodotorula</i> 属が分離された症例の菌株を用います。遺伝子学的同定を行い、真の菌名を明らかにします。 本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
試料・情報の利用開始予定日	
本研究は 2024 年 5 月 16 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。 あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2025 年 3 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 呼吸器内科 氏名：岩永 直樹 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7273

長崎大学病院における 試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 呼吸器内科 岩永 直樹（研究責任者） 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7273 FAX 095（849）7285	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	